

## 3号機 炉心シュラウド及びシュラウドサポートで発見されたひび割れについて

平成 17 年 2 月 28 日

定期点検中の3号機(沸騰水型、定格電気出力110万kW)は、1月30日から「[炉心シュラウド及び原子炉再循環系配管等の点検計画](#)」に基づいて、炉心シュラウド及びシュラウドサポートリングの溶接線の点検(※1)を実施しています。(平成17年1月31日お知らせ済み)

本日(2月28日)、定期事業者検査にて、下表のとおりひび割れを確認しましたのでお知らせします。

今回ひび割れが確認された溶接線(※2)	最大ひび割れ長さ (cm)
上部胴外側縦溶接線(V2外)付近	約3.5
下部リング外側縦溶接線(V6外)付近	約2.5
シュラウドサポートシリンダとシュラウドサポートレグとの内側溶接線(H10内)	約2.0

ひび割れの原因は、これまでに確認しているひび割れとの類似性から、応力腐食割れと推定しています。

引き続き、炉心シュラウド及びシュラウドサポート(※3)の溶接線について点検を実施するとともに、健全性評価を実施します。評価結果については、まとめ次第お知らせします。

なお、タイロッド工法による炉心シュラウドの補修工事を進めてまいります。

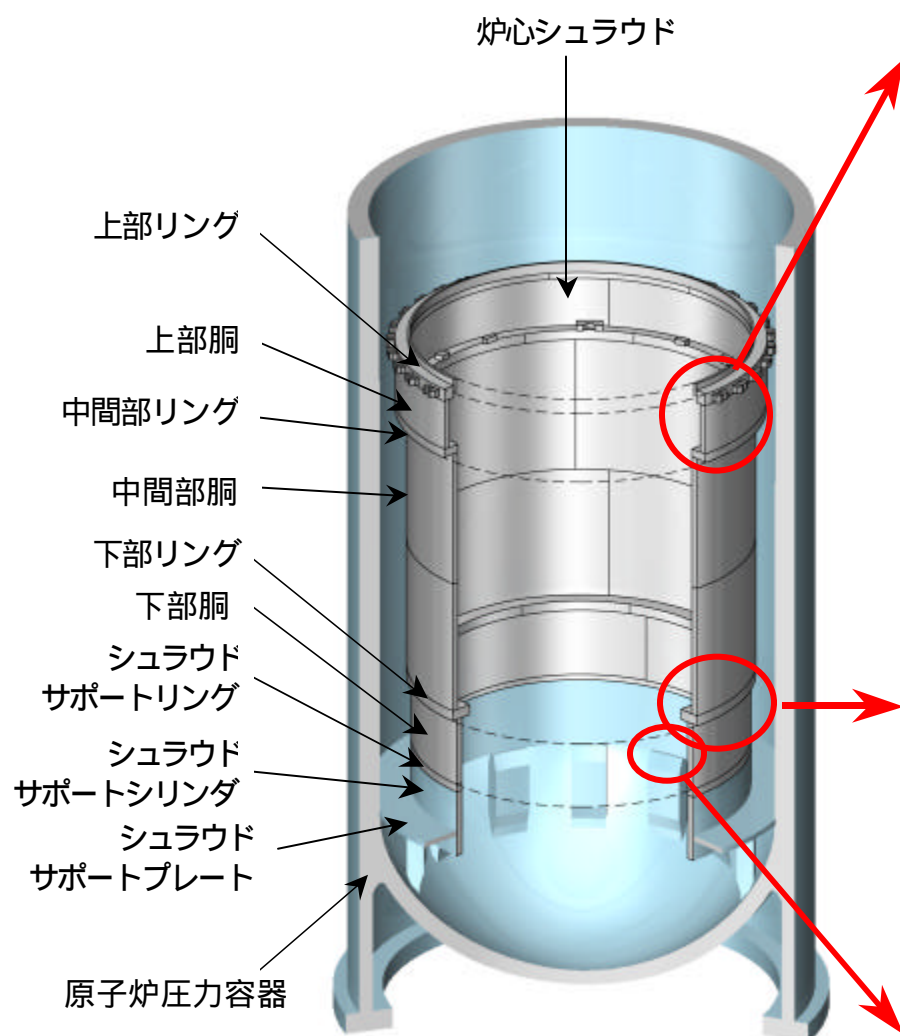
※1 これらの点検は、電気事業法で定める定期事業者検査として実施しています。

※2 当該溶接線の点検は、原子力安全・保安院に提出した「炉心シュラウド及び原子炉再循環系配管等の点検計画」(平成17年1月25日お知らせ済み)とは別に、当社が自主的に行っているものです。(当該溶接線を含めた炉心シュラウドの縦溶接線や、シュラウドサポートの溶接線の点検がこれに該当します。)

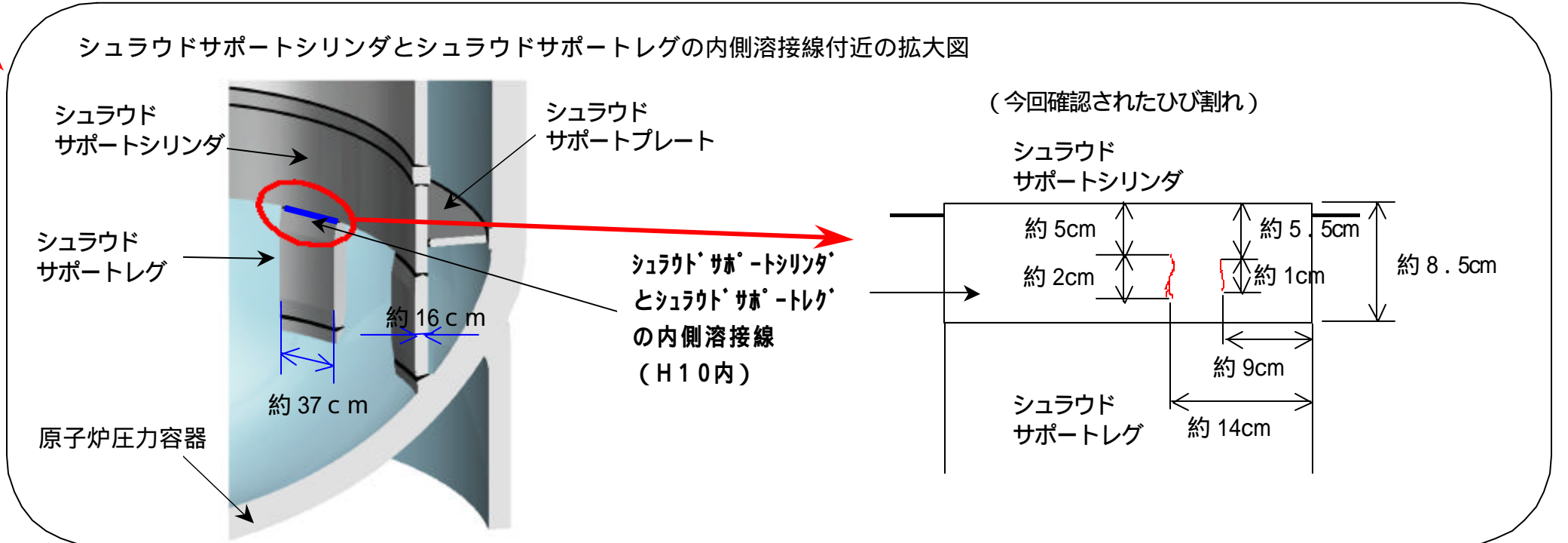
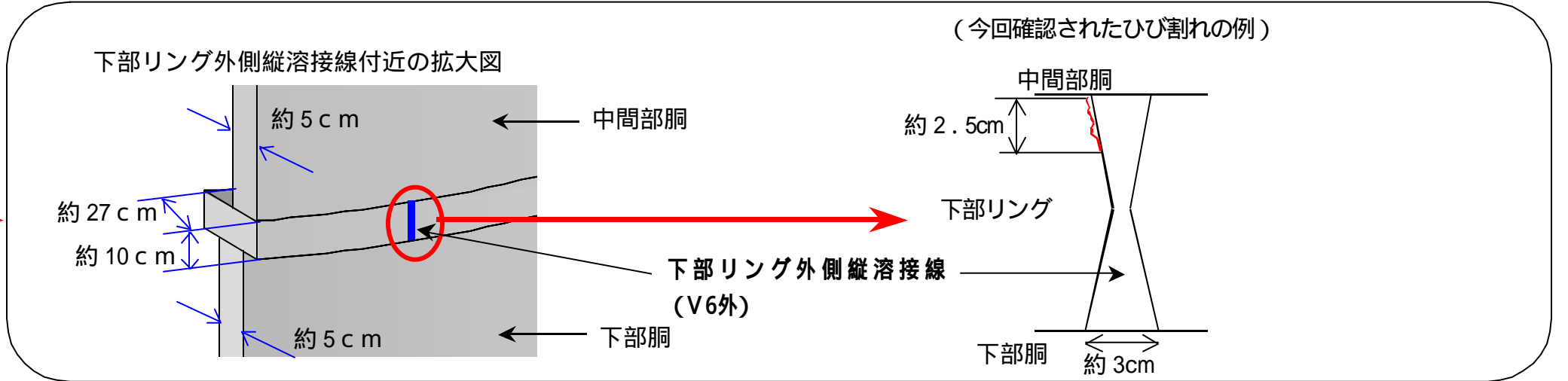
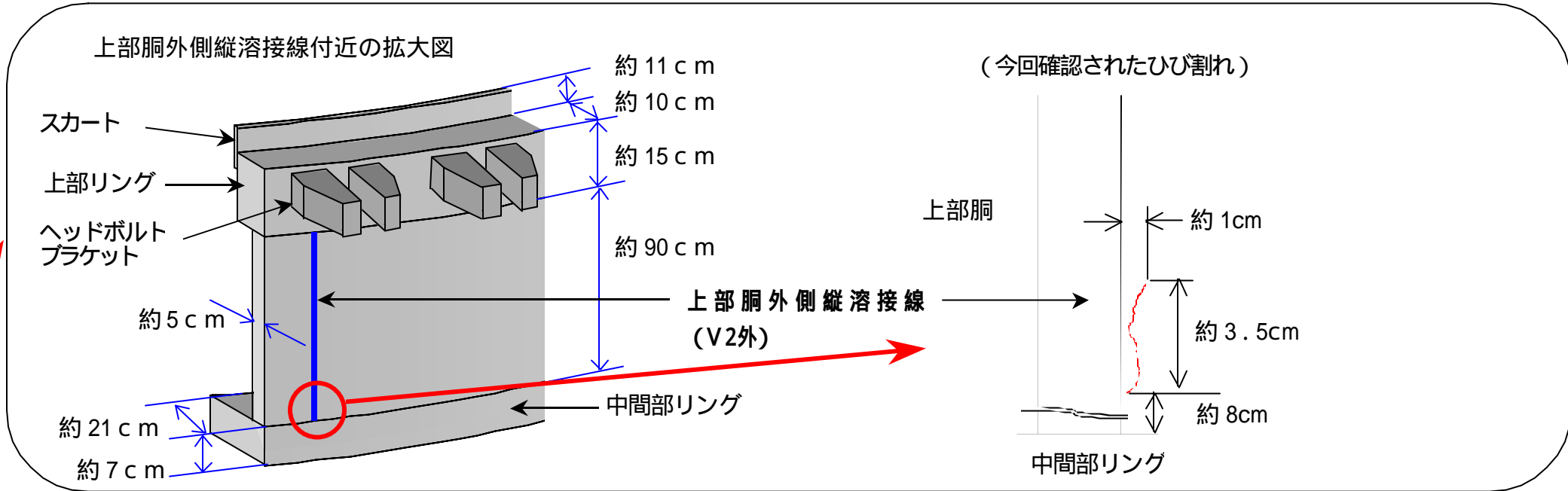
※3 シュラウドサポートとは、炉心シュラウドを支持する構造物のことで、シュラウドサポートシリンダ、シュラウドサポートプレート、シュラウドサポートレグがあります。これらを総称して、シュラウドサポートと呼んでいます。

以上

# 浜岡3号機 炉心シュラウド及びシュラウドサポートに確認されたひび割れの状況



**炉心シュラウドの仕様**  
 材料：ステンレス鋼 (SUS316L)  
 高さ：約6.7m (上部リングからシュラウドサポートリングまで)  
 内径：約5m  
 重量：約52トン



シュラウドサポートシリンダとシュラウドサポートレグの内側溶接線 (H10内)